

仙台総合ペット専門学校 「学校関係者評価報告書」

学校法人菅原学園 仙台総合ペット専門学校では、本校規程に基づき、令和7年9月26日（金）に、学校関係者評価委員会を実施いたしました。以下にその内容についてご報告いたします。

今後の教育活動や学校運営に反映させるべく、各委員からのご意見やご指導等を真摯に受け止め、教職員一同努力してまいります。

開催日：令和7年9月26日（金）

場所：仙台総合ペット専門学校

参加委員：赤澤 暁昌（一般社団法人 全国ペット協会 事務局長）

（敬称略） 加藤 滢（有限会社ほのぼの介護 only わん 主任）

渡邊 圭（有限会社ヨネヤマプランテーション ペットエコ仙台 マネージャー）

磯村 直樹（LOVE WALK オーナー）

同席者：浅野 悟（副校長）

菅原 学（飼育管理科 学科長）

千葉 雅司（ドッグトレーナー科 学科長）

高橋 和也（トリマー科 学科長）

仙台総合ペット専門学校 学校関係者評価委員会 報告

〈自己評価結果との対応関係〉

（１）教育理念・目標

〈評価及び意見〉

学校が定める教育目標・育成人材像に加え、専門的な知識・技術をより高めるための重点目標を各科で設定し、計画的な指導に取り組んだ。このことについて今後も継続的な取り組みをするよう意見をいただいた。特に３月に開催した合同企業説明会に関しては学生だけでなく企業にとっても良い機会となるので継続して行うように意見をいただいた。引き続き保護者との連携強化や企業との連携強化もすすめるように意見をいただいている。

〈今後の取組等〉

継続して企業説明会やセミナー等を開催し業界の理解を深めていきたい。また、保護者にも学校の方針や動物業界の現状など説明し、学生が直面する問題への理解を深めてもらう。

（２）学校運営

〈評価及び意見〉

運営方針や意思決定機能は学園規定において明確にされ、有効に機能している。また、各種制度、諸規程に関しても整備がされており、適切に改正が行われている。

教育活動に関する情報もホームページや SNS 等で公開されており、学校の取組みについても理解できると評価をいただいた。継続して、SNS 等での情報発信は情報リテラシーに十分注意をし、発信するように意見をいただいた。

〈今後の取組等〉

継続して SNS（LINE@、X、Instagram、ブログ、tiktok）を利用した情報発信に引き続き力を入れ、より多くの方に学校の教育活動の現状、成果について知っていただくよう取組む。
情報システム化等による業務の効率化については、新システムへの移行を進めており令和８年度末には完了する予定である。その他にも学園が設置している IT 委員会などを通じて継続的な改善が必要になってくる。

（３）教育活動

〈評価及び意見〉

ペットショップや動物病院での現場実習は実際の働き方のイメージを学生に持たせる上では良い効果を与えていると引き続き評価を頂いた。どの業界でも人手不足の問題に直面しており、学生教育を担う場である学校ではそのようなことが起きないように早期に新たな教員の確保や指導力向上のためのセミナー参加など、積極的に行うように意見をいただいた。

〈今後の取組等〉

愛玩動物看護科は3年課程に変わり、現在よりもさらに動物病院での現場実習先の確保が難しくなると思うため、現場との連携をさらに深めていく必要がある。また、動物へのかかわり方も時代と共に変化しているため、現状に満足せず新たな教員の確保も進めていく。

（４）学修成果

〈評価及び意見〉

就職決定率や除隊率は昨年度と大きな変化はみられなかったため、ある程度の評価をいただいた。しかし、全科で1年生の重点資格に設定している愛玩動物飼養管理士2級の取得率は年々、低下している。専門学校での教育だけが問題ではなく、全体的な基礎学力の低下を感じているため、今までの教育方法だけでなく、理解するのに時間がかかる学生への別な対応をより強化していく必要があると意見をいただいた。

〈今後の取組等〉

引き続き親御様や学内カウンセラーとの連携強化を図る。また、愛玩動物飼養管理士2級だけでなく全体的に資格取得率の上昇を目指していく。

（５）学生支援

〈評価及び意見〉

概ね良い評価を得ている。しかし、保護者との連絡手段が電話とメールが主になり、時代に合わなくなっている様子はみられるため、その他の連絡ツールの確保も考える必要があると意見をいただいた。また、同じように卒業生へも継続的なサポートを行えるように支援体制を築く必要があるのではないかと意見をいただいた。

〈今後の取組等〉

教員の就業時間内では多くの親御様は仕事の都合で電話に出ることが出来ない状況である。また、メールも普段から使用していない為、あまり確認していただけない状況が増えてきたため、新たな連絡手段の構築を学園のIT委員会などを通じて模索していく。卒業生も同様に電話、メール以外の連絡手段の構築を築くしていく。特に卒業生を対象として既卒者向けの求人などは学校のSNSを利用して、広げていくのも検討していきたい。

（６）教育環境

〈評価及び意見〉

教育設備はより現場に合わせたものに毎年のように更新しているためある程度の評価を継続していただいている。また、トイレの改修工事も終了し、学生生活の改善も図られている。しかし、校舎自体がかなり古いので、今後も継続的な改修が必要と意見をいただいた。

災害発生時の用品準備があまり進んでいないため、早めの対策をしてほしいと意見をいただいた。

〈今後の取組等〉

防災用品の準備をすすめていきたい。その際は人の防災用品だけでなく動物達の防災用品も準備する必要がある。また、校舎の老朽化も進んでいるため、随時、改修工事を行っていく。

（７） 学生の受入れ募集

〈評価及び意見〉

昨年に続き本校の魅力や教育内容の説明をするパンフレットやその他の資料は分かりやすく作っており、良い評価をいただいた。SNS の有効的な活用や学外ガイダンスの積極的な参加など継続しておこなっていくようにと意見をいただいた。

〈今後の取組等〉

少子化の問題は深刻であり、今後も影響は長期的にあるため、企業との連携をより強化し魅力の多い教育環境を作り、学生募集に繋げていく。

（８） 財務

〈評価及び意見〉

経理規程にもとづき会計監査をはじめ、適切に運用されている。財務情報に関しては、ホームページの「学校情報公開」の中で公開している。

〈今後の取組等〉

特になし。

（９） 法令等の順守

〈評価及び意見〉

法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がされている。

〈今後の取組等〉

引き続き、コンプライアンスの強化を行っていく。

（１０） 社会貢献・地域貢献

〈評価及び意見〉

動物イベントを中心に積極的な参加を学生に促していたのはよい評価をいただきたい。その際に参加しただけでなく参加して感じた意見のフィードバックの方法をより明確にすると、さらに学習効果も高くなると意見をいただいた。今後も動物保護団体への寄付やボランティア活動など、積極的に行うようにと意見をいただいている。

〈今後の取組等〉

動物関係のイベント参加だけでなく、様々な社会貢献・地域貢献を行っていく必要がある。

— 学校関係者評価委員会総評 —

概ね良い評価をいただき、特に少子化が叫ばれる中での学生募集については良い結果を出している。しかし、教員の確保や学校環境の改善など継続的に行わないといけない課題が多く残っている。そのため日々変化する動物業界の最新の状況を常に理解し、学生に伝えていかなければならない。

継続して、現状維持だけではなく様々な外部企業と連携し新たな刺激が加わることでより高いレベルの教育を提供できる場としていただきたい。

資格取得率の改善についてはより努力が必要なため、取組強化を図るようにと意見をいただいた。